

令和5年度 市政懇談会 1 回目

- ・日 時 令和5年11月16日(木) 19時00分～21時22分
- ・場 所 さぬき市役所 3階 301・302会議室
- ・出席者 市長、副市長、教育長
自治会長等40名、傍聴5名
事務局
市民部長、生活環境課長(司会)、生活環境課担当
- ・議 題 (1)市政報告(資料1)
(2)市政への提案・意見等について(資料2)

開催にあたり事前に各自治会から市政全般、地域に共通した内容の市政に対する提案や要望等を募集し、事務局でテーマごとに意見・要望及び回答を取りまとめ資料として参加者に配布した。

時間の関係上、全ての要望等に対する回答は書面として行い、市の課題や広く市民に関係する要望等について市長が回答した後、参加者との意見交換を実施した。

市長の回答及び意見交換の内容は次のとおり

1 統合高校について

○市長回答

県立の3高校の統合については、皆さん御承知のように志度高校、津田高校、それから石田高校の3つが一つになる経緯については、それぞれの学校を育てる会が同じ意見で、県教育委員会に行こうという事で私も一緒に訪問した。そして様々な議論をし、まずは統合そのものに反対するのではなくて統合の時期についてコロナの厳しい中であえて今土地を購入し、建物を建てて3つの高校の跡地利用の目途もたない事を急ぐ必要はないのではないかという事を中心に県教委と県知事に伝えた。県からお叱りも受けたが、間違った選択ではないのをお願いに行った。結果として様々な意見があり、例えば津田は津田高中心にまとめたらどうか、志度は一番大きいので志度高を中心にとまとめたらどうかとの意見があったが、結果として造田の下所に新しい校舎を建てると県の方針として出ている。そして、時期は令和10年4月からで用地買収、排水の問題、通学路の道等についてやり取りを行っているが、県教委との議論には至っておらず、回答内容が現在の状況となっている。県立高校である事から意見する事しかできないが、地元として令和10年4月の開校で進んでいるが、様々な問題があるのできめ細かに対応してほしいと伝えているところである。もし何かの理由で開校が遅れた場合、解決するために早めに市に伝えてもらい地元としての対応を考えたい。市が主体的となり、対応してほしいとの意見もいただいているが、御意見があればお願いしたい。

(後日、2023(令和12)年4月開校と報道発表)

○意見交換

【鴨部支会】

「さぬき市活性化プロジェクト」を立ち上げ、1年半経過している。市長とも10回以上面談をしている。最初は、大串の計画がきっかけであったが、今回高校の統合問題に関しても会長も本日出席しているが、おかしいと、造田の池と池の間でハザードマップでは軟弱地盤

であり、ダンプカーが走る場所に子どもたちを通わす。県の姿勢が見えない。造田の地盤はマヨネーズと聞いているし、池が決壊してもつぶれる。南海トラフ地震がきても壊れる場所に作って、税金の無駄遣い以外の何物でもないと言わないのか。あそこに作る事自体が大間違いではないかと気がするが皆さんどう思うか。市長にも相談がない状態で県が決めてしまったが、我々は何ら反論していないが、跡地問題についてはもつてのほかである。まず作る事に自治会として反対してはどうか。市長と相談の上、自治会が動き出したら県教委も知事も新しい方なので、自分で考えてほしい。長尾駅から 1.2 km、造田から 1.5 km で非常に便利な所と報道されているが、志度高と津田高は歩いて行けるのに何が便利なのか。

【造田支会】

水田には適した良い土地だと思うが、学校建設となれば話は別かと思っている。ため池二つに挟まれた水田跡地に立地するのは、これまで想定しないような災害や、南海トラフ地震も必ず起こると思っておかないといけない。果たして市の避難場所になり得るのかどうか。楽観論ではなく、最悪の事態で考えなければならないと思う。もう一つ懸念材料は、石田高校の畜産施設は臭いと水の問題で移動が初めから困難だと言われていたが、残る。また、野球部の子ども達のグラウンド確保ができないという事を、県の文教厚生委員会と話し合っている。そのために、石田高校のグラウンドを使おうと、いや照明器具のある志度の方が良いという議論を 9 月議会ですしている。という事は、畜産コースと、野球部を選択した子どもは 2 回統合高から移動しなければならない。一番単純なのは目の前にある現校舎を使えばいいと思う。徳島にある高校はそうしている事例もある。名称の上では統合しているが、二つのキャンパスを上手く利用している。

【市長】

そもそも論の話を言っていたが、県立高校で決まった事を市政懇談会で言うには時間や場所の問題があるので、連合自治会の中でまとめていただいて自治会としての意見があるようであれば直接、知事に行くか、市を通じて県に出すという事も考えられるので、他の自治会長さんとしては統合するのであれば、こうして欲しいという要望内容となっているので、要望内容に沿った意見を伺いたい。回答にも記載しているが、計画校地の取得に向けた用地交渉や用地造成の設計、建設計画や排水計画を内容とする基本計画の策定等について、県教委において進められていると書かせていただいた。抽象的にはそうなので、市も担当職員が入って計画を作る時の意見（道路・排水等）は問題点として伝えており、具体的な内容についてはこれ以上話す材料はないが、経過を書かせていただいている。そもそも条件が悪い所や、3つの学校を一つにしたら教育が十分にできるのかという話は、私の責任でお答えできない部分があるので、連合自治会でこれに絞った内容を議論していただき、まとまった段階で県の方には何らかの形で申し入れを行い、回答をもらいたいと思うがよろしいか。

- 2 広報（広報紙配布）について
- 3 広報（コミュニティ放送・音声告知放送）について
- 4 地域コミュニティ（自治会）について

○市長回答

先ほどの高校の話で感じたのだが、質問内容・回答は掲載していますので、参加している

自治会の代表の方で、項目について一言言いたい内容をお聞きして回答しないと、同じ事の繰り返しになるので、特に広報紙の全戸配布については私自身も非常に難しいと思っている。回答を先に言うてしまうが、もともと全戸配布としたのは、自治会に入る人が約70パーセントで、地域の中で自治会に入ってくれない人が出てきた。その方からは同じ市民であるのに広報紙を配ってくれないのが不公平ではないかと、高松市ではポスティングシステムで個別に郵送で配布している。さぬき市は加入していない人を差別するののかという話と、自治会によって違う意見があるように、広報紙を配る事により、自治会としての繋がりをこれまで努力してやってきたのを、ポスティングにした事によって、自治会機能を壊しているのではないかという御意見もある。一方で、高齢化のためにそれぞれに配布するのができないという自治会もある。事前調査した時の割合が、半数以上ではないが40数パーセントの自治会より話もあり、ポスティングを行った経緯がある。自治会によっては今までの努力が水の泡になると、片方で自治会加入を促進し、片方で入らないでも一緒という事でおかしいではないかという御意見もいただいた。私自身も何が良いのか分からないので、生の声をお聞きしたい。

○意見交換

【志度支会】

先ほど市長からの話にあったように、非常に難しい問題だが、ポスティングにして会員が15世帯ほど辞めた。結局は、自治会に入って何のメリットがあるのかという話で、説明する際にごみの集積場は市から補助金をもらっているの、自治会に入っている人が管理しているから、自治会に入っていない人は、ごみを出せませんよと、ごみは市に持って行ってもらうかようになると説明するが、市に持っていくという話になる。実際、市に持って行っているかといえば、ごみ集積場に出している。そういう状況がポスティングをした弊害として出ているわけである。それに対して市は自治会加入についてどういった手法で会員を増やすための方策をしているのかといえばしていない。ですから、ポスティングする前に自治会の加入推進をするために、自治会に入ったらこういうメリットがあるというのを市から言ってもらいたかったと感じている。今後は自治会加入を市としても真剣に取り組んでもらい、災害時には、防災は自治会単位でしていかなければいけないので、そういう面を市がアピールしていただき、自治会に入ったらこういうメリットがある事を宣伝していただき自治会加入を進めていきたい。意見になるか一言言わせていただいた。

【小田支会】

小田支会からは要望として出しているが、支会で新聞を出しており、今までは広報紙と一緒に配達していただいていたが、今は広報紙がポスティングとなったので、個別に15自治会に配達している。今後、個別に配達ができるかどうか分からないので意見を書かせていただいた。配達業者に支払いをしているのであれば、自治会に回して、自治会に加入していない世帯にも勧誘や見守りも兼ねながら、広報紙を配布しますので予算を自治会に回していただきたい。難しい問題で周りとの付き合いがなくなった等の意見もあったり、今の所でできているが、世代交代した時に続けられるかという心配もあったりするが、機械的にポスティングのみで行う、郵送だけで行うのも寂しいような気がして意見を出している。

【市長】

広報紙だけの問題ではなく、自治会の在り方をどうするのかという根っこの深い問題とい

う事で司会者の方からも地域コミュニティ、自治会についても併せて御意見を伺えばと提案させていただいたが、皆さんが自治会長をされていて御苦労されている事があると思う。その事がポスティングによって上手くいったというよりはマイナス面の方が多いのではないかという御指摘を受けた。ポスティング以外でも自治会運営でこういう事で困っている事がありましたらこの機会に御発言いただけたらありがたい。

【鴨部支会】

そもそも自治会というのは市の立場から見ても何なのか。防災やいろいろな項目があるが、自治会に市が一番期待している事は何か。皆さんボランティア、無報酬で地域のため、地域の活性化のために行っている。年齢とともに配る事も苦しかったと思うし、皆さん様々な問題を抱えているかと思うが、自治会を脱会する理由も分からないし、我々の自治会はまとまった8件のチームワークで防災や見守りを全員で行っている。小さいからできるものでもないような気もする。脱会した人もいるが、理由もあり我々も納得している。他自治会で脱会された方は何が理由で出ていくのか教えていただきたい。

【市長】

先ほど自治会長が言われたように、自治会というのが行政にとって言えば協力をしてほしい団体である。ただそれが、任意という事で原則動いているので加入しなければどこのどういう法律に触れるのかと問われれば、私どもとしては、任意であるとしか答えられない。しかし、例えば近所のお付き合いをする事によって、様々なメリットがありますという風に御説明はしているが、そのメリットはいらないと、デメリットと言え、ごみと広報紙だと、ごみを集める一般廃棄物はどこが責任をもって集めるのかと言うと市町村となる。自治会に入っていないからといって、ごみを集めないというのは法律違反しているとおっしゃる。何とか自治会にお願いをするが、お願いになる。だから、市民の事を上から目線だという批判がくるのを覚悟して言いますが、やはり意識をどこまで持ってもらうかという事だと思う。それで高松市に行く自治会加入率は5割をきっている。そういう所と、何とか皆さんが努力して7割を超えている所と同じようにする必要があるのかという疑問もあろうかと思うが、小田支会が言われたように、この自治会だけはポスティング、こちらは自治会で配るようにすると、ポスティングする側からすれば、大きなかたまりでしてもらわなければ今の値段ではできないと、現状1千万ほどかかっている。悩ましい問題があるので、できればポスティングの経費を自治会にまわしてくれたら自治会で配布するという御意見もあったかと思う。ところが技術的に難しいという点と、今自治会に一世帯3千円交付しているが、厳密にいえば配布の中の一部に充ててもらおうようになっている。ポスティングする際に補助金を下げてもどうかという意見もあったが、本当に自治会のやる気のある所がますますなくなると困るので補助金の変更はせず、ポスティングを行ってみて、これだけの反論があり、市議会の中でも御質問いただいているので、これほど影響が大きいというところまで読めなかったというのが正直な所である。だから、今回様々な意見をうまく最大公約数ができて、皆さんは純粋に自分たちの自治会がやってきた事を、自分たちの延長線上でやれる方法をなぜ市は考えなかったという御意見だと思う。ところが、全部に答えるのは難しいので、意見をお伺いし、どうするかというのをもう一度検討する事になろうかと思うが、一旦ポスティングが始まったので、ポスティングの方が良かったという自治会も半数近くある。そういう所として

は、今更、元に戻されたら困るという意見もあるので、皆さん方の御提案なり、良い考えがあればお聞きして、これでなければいけないと決められる問題でないと思うので、できれば自治会毎に対応が変わっても良いようなシステムがあれば一番良い。自治会でも温度差があり、非常に濃密な所と、隣の人の名前も知らない所もあるので、全て一緒の制度にしたのが問題点だったという反省はある。そういう現実も踏まえて、できるだけいい方向に答えられないかなと考えているが、何かあればお願いしたい。

【志度支会】

自治会長 2 年目でまだまだ勉強させてもらっているが、アンケートを取った時点では、私は初年度で初めての自治会長だったので、アンケートを取った時には、あまり分からずに楽ができるという感じでよく文章を読まずに出してしまった。現状も考えずに、自分が楽できるという考えで出してしまったので、半分近くの方がポスティングの方が良いと回答したと思う。ポスティングを実施しての反響を改めてアンケートを取り直せば 2 年前に取った時との結果を見比べて結論を出していただく、考えていただくのはどうか。

【市長】

どういったアンケートをするかにもよるが、これだけ皆さんの議論が出てきている以上、まとめるような材料としてもう一度アンケートをするというのは考えられると思うが、事務的に時間を要するかと思う。

【生活環境課長】

担当の秘書広報課と協力し、内容を決めて全 365 自治会に実施するので、3 か月ほどはかかるかと思う。文書だけで配っても、なかなか分かりにくいところがあるので連合自治会等で説明を行い、その後自治会に話がいった後でアンケートをした方が良いのかと思う。いきなりアンケートを送付したら、先ほど自治会長からの話にもあったように、そこだけで終わってしまう可能性もあるので、年度内に実施するのは難しい。

【市長】

これだけの方から御意見があるので、何らかの形でアンケートをして、それでも半数以上の方がポスティングの方が良いという結果になるかもしれないが、次の事を考えなければいけない。いつからというお約束はできませんが、これだけの議論があり、明後日 2 回目の市政懇談会の意見もお伺いし、何らかの形でもう一度、来年の 4 月に間に合わず約束は出来ませんが聞いてみます。

【志度支会】

今更、再度意見を聞いてポスティングをやめるとなったら、アンケートを取ってポスティングをやめて元に戻す意見が多くなったら配布方法を変更するのか。それは出来ませんよ。ですので、アンケートを取って果たしてよいのかという事があると思う。問題は、7 割の人が自治会に入っており、3 割の人のためにポスティングを始めたという事ではないか。結局、お年寄りが増えて広報紙の配達ができないのは、山間部が多くて志度地区は果たしてポスティングに賛成の人が多かったのか考えさせられる。ですので、ポスティングを始めてから後戻りはできないと思う。また自治会で配るようになれば、自治会が混乱する。問題はポスティングを行っているのだから、どうしたら自治会へ入ってくれるか、入っていない 3 割の人をいかにして自治会に入ってもらうかを市で考えていただいて、そこに労力を使っただき

たいと思う。やはり、市から3千円いただくのは様々な活動ができるので自治会としてもありがたい。会員が離れないような市としての方策を考えてもらう方が、自治会としては今後の運営がしやすいと思いますので、よろしくお願ひしたい。

【小田支会】

私の自治会では、全員が自治会に加入している。ただ、全員高齢であるが、広報紙以外の配布物については班長に配布していただいている。班長の高齢化率も高くなっており、配るのも大変であるが、そこが非常に重要であり、高齢者や一人暮らしの高齢者が多いため、広報紙を配る事が見守りにもなっており、できればポスティングではなく以前の形式に戻していただいた方が助かるかなと思う。もう一つ、話は別ですが、自治会の統廃合について今月19日に両自治会と合同で臨時総会を開く。もし賛成が多ければ来年1年間は準備期間とし、再来年度の4月1日から統合したいと思っている。それほどひどい状況であるので、高齢者の見守りにもなり、より良き自治会にするために、皆が喜んで加入する自治会にするために、一つにしていきたいと思っている。

【志度支会】

意見については書かせていただいたが、若干方向を変えて業者の方が部分配布をする。私どもの自治会は157件、100パーセントの加入だが、1件今回配布を市がするのであれば、掃除の負担もしたくないし、県外から来ているので人的な繋がりもないし、自治会の中で友だちも作っていないからという事で辞めようかという話も出ている所である。例えば志度地区29自治会の中で、加入率が高い自治会もあると思うので、部分的に自治会へ広報紙配布を従来通り任して自治会の機能をそのまま維持する。あるいは、意欲づけるためにする場合、業者側のコスパが悪い、価格が上がる。なぜか考えた時に、メカニカルな面が分かりにくいのだがこの辺りはどうなのでしょう。

【市長】

実際にどのくらい上がるのか確認はしていないが、一般論で言いますと、まとまった地域で例えば宛名を書いて郵送した場合、範囲が広がると割高になるのではないかと推測もある。ですから、いずれにしても良い方法を言われたような一部のポスティングをした時に経費のデメリットがあるのか、自治会に意見を聞いた時に、配布方法が異なると混乱する自治会もあるかも分からない。混乱するのでアンケートはいかがなものかという御意見もいただいた。例えば、支会長へ意見をもう一度聞くというのは一つの方法ではないかと思うがどうでしょうか。

【志度支会】

志度支会から御意見を出させていただいた。7割の自治会加入率で2年前にアンケートを実施した時に漠然と楽になるから良いのではないかと賛成した方もあろうかと思う。原因としては、自治会として広報紙を配る一つのやりがいを持っている会員の方も多少おいでと思う。この際、アンケートをする事で混乱するのではないかという意見もあったが、いろいろ御意見もあろうかと思うが、できればもう一度、急ぎませんのでアンケートを検討していただいて、改めてアンケートの出し方、質問の仕方等は市の方でご検討いただきたい。志度支会としては、再考していただき、アンケートの実施をお願いしたい。もう一点、広報紙配布に関しては3千円の世帯に対する心温まる御配慮があったとお聞きしましたが、予算があ

る限り、やりくりしていただいて自治会へ対する助成金等についてもよろしくお願ひしたい。

【市長】

先ほどの高校統合の話と一緒に、一度、連合自治会でこの話をどこまでまとめられるのか相談していただきたい。それが難しければ皆さんの御意向を聞く方法を考えますので、その時に例えば部分的なポストイングの実施をしたらどうなのかとか、ポストイングに費用がかかっているのもそのお金を自治会の方でうまく使えたら良いのかなど。

【志度支会】

部分自治会は、自治会の中の一部ではなくて、単位自治会毎という意味である。単位自治会に送っていただいたら、自治会の中で責任を持つ。加入者が脱会した場合は、責任は自治会がとるという事だ。

【市長】

自治会そのものが責任を取れる組織ではない。皆の任意で集まっているので、こうしないと誰が責任を取るとか、我々も加入してくださいと、お願ひの域を出ないので苦慮している。地域で何か起こった時に自治会の中で防災等そういった対応できるかなかなか難しいと思う。全部自分で避難できる方とは限らないと思うし、家族ができない人もいる。まずは地域の中で自主防災等を取り組んでいただき、そこで難しい所を行政が行うように役割分担をしていかなうとまくいかなう。

【志度支会】

自治会で責任が持てない所はポストイングをすれば良いと思う。未加入世帯も含めて自治会で責任をもって配布する自治会に対していくらかの補助金または支援金をいただければ、自治会で責任が取れる。

【市長】

具体的な方法についてはお尋ねして、ただ分かっていたきたいのは自治会に対して行政が入るよという要望があったかと思う。本人が自治会に入る義務や必要性もないという方に対しては、今の法整備の中ではどうする事もできない。地方の特徴として、うまく包摂するような地域社会にできれば素晴らしい事だと思ふので、目指していきたい。また、広報の在り方だが、10年先に紙媒体の広報紙を各世帯に配布する事が住民ニーズに合うのかを先の話として、考えていかなければいけない。紙を配る事によって情報が正確に伝わるので、当面は維持しながら将来の事も考えたい。ポストイングをしたら解消する、自治会にお願ひすると解消するのではなくて、自治会の皆さんがどう考えるのか、行政として自治会をどうしていくかが分からないと難しいと思う。

5 まちづくりについて

○意見交換

【鶴羽支会】

まちづくりの観点で質問させていただく。質問の締切り後に起こった内容についてであるが、地元にはクアタラソという施設があり、地元には説明もなく、9月の末に休止するという報道がなされた。報道の内容に則して2点質問させていただく。クアタラソ、クアパーク、津田の松原サービスエリア全体では赤字と聞いていた。クアタラソのみが赤字だと読み取れるが、

全体で黒字が出ているのであれば、地域住民の健康増進に貢献してきたと思うので、残す方向で市民のために頑張るのが市の立場ではないか。もう一点、保守費用が5億と報道されていたが、全面改修の費用ではないかと思う。地元や利用者の意見を聞くと、全面改修は望んでいない。直しながら続けてほしいというのが正直な所で、実際、利用者は高齢者に該当する方が多いので、継続してもらい、考えてもらいたいと思う。

【市長】

クアタラソの場合は、来年度4月から休止という事で発表した。利用者に相談がなかったという話だが、個別に御相談はしていない。ただ、クアタラソだけが毎年2~3千万ほど赤字になっているのはここ2・3年に始まった話ではない。クアパークも含めてコロナ禍は除いたそれ以前でも運営は厳しかった。委託している業者が、津田の松原サービスエリアも含めればコロナ前は黒字であった。黒字でなければ撤退している。ただ、クアタラソが一番問題なのは、自治会長より小さな改修で続けてはどうかとの御意見についてだが、10年ほど、ずっと行ってきたが、それでは安全が保てなくなり、議会からも指摘を受けている。大改修をするとなると今の規模で建て替えも含めると数億円かかる試算となっている。まず、クアタラソ、クアパークともに赤字であるが、クアタラソが一番赤字の幅が大きいので、一旦休止させていただく。私自身、クアタラソが果たしている機能は評価しており、何とか残す方法はないか考えるためにも4月からの休止については御協力いただきたい。改修では間に合わなくなっているが、全部改修し、同規模の施設を新設する事自体も負担が大きいし、同じ事を続ければ間違いなく赤字が続くので、もしやるとすればクアタラソだけではなくクアパークの利用者も使えるようなものがないかをこれから検討したいと考えている。クアタラソそのものを全面して作るのではなく、今続いている赤字の状態を止めて、もう一度素晴らしい機能を復帰できるかどうかを検討するために今回のお願いをしていると御理解をいただきたい。

【鴨部支会】

唐突に市民に相談もなく報道が出た。例えば自治会長会や、急でなければ事前に打診すべきではなかったのか。今から考えるというのは、休止してから考えるという事はおかしいのではないか。皆、健康のためやリハビリのために通っている。3か月以前も休止したと思うが、その時も迷惑をこうむっているのに、なぜ市役所やSA公社も知らないのか。事前に協議があったのか。委託業者と市どちらから休止を言い出したのか知りたい。赤字は委託業者の話ではないのか。

【市長】

委託業者と市として協議をした結果である。赤字は市が指定管理料として補填している。

【鴨部支会】

町長の時代から赤字覚悟で作ったのは御存じですよ。

【市長】

赤字になっても何とか続けたいという事にして、行政の長が赤字覚悟でする事はない。赤字を上回るようなメリットがあったという事ではないか。

【鴨部支会】

健康寿命、健康増進、町民いこいの場・語り合いの場が実際にできていたと思うし、皆さん

高く評価していたと思う。私も在職時から週休 2 日使用し癒されていた。別の事案になるが職員や SA 公社が現場の実態を知らない事が多い。もう少し考えていただきたい。

【市長】

滑って怪我をされたとの話だが、そういった事がずっと起こっている。それを簡易修繕で何とかやってきたけれども、限界がきたという事と、冷たく聞こえるかもしれないがクアタラソを利用している人にはメリットがあるが、利用していない人の方が圧倒的に多い。利用している人の数は実人数で 4 万 5 千人もいない。私たちが考えなければならぬのは利用する人も何とか利用してもらい、利用していない人の税金を利用する人の所へあまりに投入するとバランスも崩れる。休止をする事が遅れたという事は反省している。もっと早い時点で止めて新しい方法を考えるべきであったものを、何とかやりくりしながらやってきた事が今回多くの人に混乱を与えた事は私の責任である。ただ、今やれる事をやらないと益々この矛盾が広がるという事で、何とか津田が過疎地域になった事もあり借金する時に、過疎債を上手く使ってできないかという事を検討しながら、来年度 4 月からのお願いをしている。それを今やらないで伸ばしたらどうかという事になれば当然、今まで赤字できていたのなら一緒ではないかという御意見もあるが、2~3 千万のお金をもっと有効に使わなければいけないという事になれば、休止した上で同規模ではなくて小さい規模でできないかとか、クアパークの利用者も使えば効率が良くなるのではないかと等検討しながら、来週お話する機会を作らせていただいていますので、今日は質問いただいたが、他の質問もありますので。

【鴨部支会】

先ほどおっしゃった矛盾とは何ですか。

【市長】

自分が使わないもので自分の税金を使うという事は矛盾になる可能性があるという意味である。逆の立場の方からすれば、クアタラソの存続について必ずしも全員が自分の税金を使って存続してほしいと思っていれば良いがそうではない。その中で何とか継続しようと知恵を絞っていると御理解いただきたい。

【鴨部支会】

今回、我々に相談する前、会員も何も知らない前に四国新聞や KSB、NHK で報道されたがどこからの情報か。

【市長】

その点は確認していない。

【造田支会】

11 月 20 日にこの件で市長と話し合う事になっていきますので、話すつもりではなかったが、議論にのぼっていますので発言させていただく。やはり、経営側として、赤字黒字は大事な事だと思う。業者サイドからすれば 3 か所の運営を任されていると赤字部門を切りたいのは本音だと思う。市のサイドとして考えなければならぬのは必要な施設かどうかという事だと思う。そういう意味で、健康増進施設として役に立っており、会員だけでなくそれ以外の方も例えば人間ドックで言われて来ているという実例があります。それと、一般市民のファミリー層が一年中安心して楽しめ、遊べるレジャー施設として今年の利用者は多かった。市内外から利用されていた。私は必要な施設だと思う。学校は 100 パーセント赤字だが、必要

性を感じて議論自体されなれないと思う。赤字の幅が大きければそれで良いという事ではなく、経営努力もあると思う。その点は次回話し合いしたいと思う。ちなみに東かがわ市は来年11億7千万のお金を投じて、合併特例債をかなり使い温浴施設を作るそうだ。そこに行けばよいという問題ではないと思っている。

【市長】

合併特例債の期限はきれていて、過疎債を使うと聞いている。引田の予てからの温水プールを来年7月にすると。現実が福祉だからといって今までのようにお金を使える時代ではないという事を御理解いただきたい。必要なものは必要であり、必要なものは削ってでもしなければいけない。そこまでの必要性を皆さんと一緒に考えてそこまで行くような努力はしますが、昔のように福祉だからお金を使っても仕方ないという事でなく、費用対効果や、きちんと説明責任を果たさない限り温水施設が多くの皆さんの合意を得てする事は難しいので、一緒にやっていきたいと思う。

【鶴羽支会】

最初、市長の挨拶の中で、あった方が良くはなく、なければ困るものを残したいとおっしゃったが、地元からするとなければ困るものである。

【市長】

地元の方だけがなくては困るというのでは、さぬき市全体での説得力に欠けますので、他の地域の方も理解いただくようお互い議論しましょう。

6 公共交通対策（コミュニティバス）について

○市長回答

コミュニティバスは回答にも記載しているが、運行に6千5百万かかっている。その中で、運賃や特別収入は1千713万で差額4千787万は皆さんの税金を使わせていただいている。税金を使う理由を我々も皆さんに分かるよう説明したいと思う。デマンド方式やAIを利用し効率的にしようと言っているが、さぬき市のコミュニティバスの一番の欠点が循環でない。一点から直線に運用しており、なぜ困るかと言えば循環していれば運転手1人で回れるが7つの路線を同時に動かすとなれば7人の運転手が必要であり、もともと効率が良くない。それをデマンドで予約し、AIを利用し行おうと言いながら、さぬき市は広いため、20分で行ける所を40分かかるためうまくいっていない。国でもライドシェアという福祉目的であればいわゆる白タク、一般の自動車で運ぶ事もできるが、事故が起こった際の責任の所在に関する欠点がある。タクシーであれば業として行っているため、一定の保障ができる。自動運転の車を走らすためには、今の技術では難しいので、市議会からもゴルフ場のように線を埋めておいてその線の上を走るような事を考えてはどうかとの御意見もあったが、一般の公道で行うのは危ない。自治会の在り方と同じくらい難しい。自分の税金を使ってでもこういった事をしてほしいという合意形成をやっていけた所はうまくいくし、やっていけない所はなかなか難しく、国のようにコンパクトシティにすれば移動の範囲が狭くなり、お店や病院を集める事になると地方で豊かに暮らしている人を人工的に便利にはなるが、人間として豊かでなくなるという議論が起こっているため、コミュニティバスについては今の中で具体的な方法が言えなくて申し訳ないが、空気だけを運んでいるのではないという風な公共交通機関として、

もう一度考えていきたいと思う。少しずつ良くなるように目指していきたいと思う。

27 市民病院について

○市長回答

現状について説明させていただき、御意見いただきたい。市民病院ですがコロナ前は累積赤字が22億円あり、コロナ禍になり患者数は減少したが、空床保障で入院しなくても、国からお金をいただく事ができた。この3年半で黒字が10億余りになった。今、赤字が12億円になっている。今年度の試算をしてみると、コロナが収まって空床保障がなくなり、差額が2~4億円ほど赤字になる。一番の原因ですが、人口が減り入院患者が減っている。もう一つは医師不足で救急車の受け入れができない。救急患者は入院が必要であるが、入院患者が増えた場合、入院の収支が良くなる。医師が増えると人件費がかかると思う方が多いが、医師がいて患者がいれば、診療報酬で入る。現在、医師不足をどうするか苦慮しており、この間様々な病院があるが、協力してくれる所へ話をしに行った結果、香川大学医学部の方で総合診療専門医という最初に来た患者を診て、診療所か、二次医療機関の受診が必要か、三次医療機関へ繋ぐ医師を国が養成しようとしている。香川大学医学部の患者は三次医療ですので、診療の臨床する場所をさぬき市民病院と提携をし、市民病院で診療してもらう事によって医大から医師を派遣してもらえないかという話をしている。すぐに赤字がプラスになる事は難しいが、その幅を縮める事により、なければならぬものをするためには、あったら良い事の順位を下げてもらわないとなければならぬものできない。病院は人の命に係わる事でやり直しがきかないのでなければならぬものだと思う。黒字になるような病院にしたいと思ってやっているが、皆さんの中には市外の病院に行きたいと思っている人もいると思うが、市民病院について御意見があればお願いしたい。

○意見交換

【小田支会】

実は先日、近所に救急車が来て、救急隊員と話す機会があった。救急隊員が市民病院は受け入れてくれないと言っていた。やはり、受け入れる医師体制が取れていないのが第一の問題だと思う。救急隊員自体から、最初に言われるのを作っている状況、市民病院を立派にしたのに中が伴わないのではいけないと思う。どうにかして医師を育てる、医大から派遣で来てもらうのではなく、健全な運営をするために医師をよんでいただきたい。

【市長】

例えば、中央病院の給与レベルですが県下の中で決して高い方ではない。でも、給与が低くてもそこで勤務する医師はたくさんいる。自分のキャリアアップをする上で手術の件数を重ねる事は自分にプラスになると思っている。さぬき市民病院の場合は、どちらかと言うと珍しい病気の人の手術をする機会が少ない。キャリアアップのためには、給与が安くても他へ行きたいと思っている。市民病院の名誉のために伝えるが、当直の先生が専門医でない場合、受け入れる事が出来ず、断っている現状があるため、救急に対応できる医師を香川大学医学部へお願いして協議している所である。まず、収支も大事であるが、信頼・信用してもらえそうな病院になる事が大事だと思う。人口が減ってくると、患者も減ってくる。県にもお金を負担してもらい白鳥病院と市民病院が一緒になり集中的に市民病院に配置できれ

ばもう一つの解決方法として県へ持ち掛けた事もあるが、コロナと重なりなくなり、香川大学医学部と話をしている状況である。できるだけ早く皆さんの信頼が得られるような、そして少しでも赤字が減り、病院は健康以上に命の問題ですから、そういう風にやりたいなど。ただ、私は市民病院の開設者で、病院を設置しているのは市長になる。ところが、市民が病気になるから患者が来ないのであれば良いが、現状は患者が高松の方へ行っているのを何とかしたいと思っている。

【造田支会】

私も人間ドックは市民病院でお世話になっていますので、否定ばかりはしていない。コロナ禍でも受け入れしていた。今言われたように急患を取るように県や他市町村と連携してぜひ医師を確保していただきたいと思う。それと、クアタラソの問題も出ましたが、日盛の里も閉所する話を聞いていますし、これから高齢化社会は拡大傾向になりますので、福祉事業を切り捨てたら健康寿命が結局短くなって国保や介護財政を逼迫する。予防的な意味合いでも、重篤になる前に健康寿命を延ばすという観点、それは県や市も大事であると思う。

【津田支会】

私の経験になるが、毎年人間ドックを受けている。その時に肺に影があると言われ、市民病院で精密検査を受けた。その時に担当していただいたのが香川大学医学部の講師でたまたま胸部の専門医だったので、肺がんを発見され、初期の段階で撤去され健康状態になった。だから、市民病院もそういう形で香川医大と連携ができていますので、もう少し密にしたら医師の確保に繋がるのではないかと思うので前向きに検討していただければいいと思う。

【市長】

前に向きすぎていると言われるくらい、前向きにしていますので体験談という事でありがとうございます。

【小田支会】

患者が少ないのは医療レベルがあまりに低すぎるのではないか。医師の能力、もう少しいい医師を雇っていただけたらと思う。なぜかというと、妻がリュウマチになり特効薬を投与されたが体重が減ってきたため、他の病院で薬を投与してもらい治った。大腿骨の骨折で市民病院に行った事もあるが、手術ができる人がいなく2週間経っても手術しなかった。結局、その後手術してもらったが、丁寧に治療してもらいきれいに治ったが、傷口が開かないようによく縫ってくれたが女性にそこまでするとしわが寄る。とても一生懸命にやってくれたがもっとハイレベルな医師を雇ってほしい。

【市長】

市民病院は実は患者が少ない事はない。外来で予約しても待ち時間があるくらいたくさんおいでる。本来は診療所へ行っていただいた方がいい方が、市民病院に来られる。ですから、先生も同じ時間を診るので、本当に見なければいけない人の時間がタイムラグになり、予約が遅れる。そして香川大学医学部の事を言いましたが、学長や病院長と話しましたが、市民病院で難しい場合は紹介しますので受けてもらう代わりに、一定の治療が終わった際に市民病院が受けると、診療報酬が安くなり一見するとマイナスとなるが、それは一部のマイナスであり最初に来て医大で手術し、市民病院に戻ってくるのでトータルで見るとマイナスでは

ない。もっと大事なのは患者にとって安心感がある、やはり医師もいろいろありますので、現状協力していただける香川大学医学部の専門の所へ連携をしてやるという事で、医師の質・安心感を持ってもらうものは前向きに自分たちの最後の砦として、市民病院の役割を上げていきたいと思う。

【小田支会】

なぜこの話をしたかという、私以前東京におりまして大学病院の事務長をしておりまして、病院の事が良くわかるので発言した。

【鴨部支会】

妻が健康診断の際に検便で再検査となり市民病院の医師に感謝している。医大を紹介してもらい大腸がんの治療をして現在復帰している。市民病院も医大の方も素晴らしい先生で感謝している。一つ、先ほど皆さんおっしゃっていますが、噂ですがかかりつけ医との連携、私は日盛の里についている。そこから紹介してもらっているが、市民病院がそれをする必要はないのではないか。かかりつけ医でできるものを総合病院が取る必要はないのではないか。

【市長】

現在、歯科や病院に行けばかかりつけ医を持ちましょうというポスターがあると思うが、それではなかなか周知ができないので、新たに薬局や、歯科もホームドクターを診療所で持ってくださいと、その中で症状に応じて二次医療の市民病院、三次医療の医大、県中、日赤等役割分担が果たせれば医師の負担も減るし、患者の負担も減る。人間ドックも余計な話になるが、病院の改革の中で医大との連携で、人間ドックはあまり儲からない印象があるかと思うが、きちんとした医師がおり人間ドックを定期的に行えれば、経営の面でもプラスになると聞いた。特に早期発見、早期治療が大事であるので、今よりも制度と人数を増やせる方法がないか香川大学医学部と話をしていますので、みんなの病院という事で応援していただきたい。

【鴨部支会】

ありがとうございます。感謝しています。最後一つだけ、病院の経営は市と病院の事務局で行うのか。経営にこれだけ赤字ばかり出している経営陣は不信である。ずっとコロナ禍まで赤字であったのに改選しないのか。民間を入れるとか、AIを入れるとか何か手立てはあったのではないのか。

【市長】

基本的には事業管理者が一時的には責任を持つ。一番の原因は患者一人当たりの診療報酬単価が低かった。

【鴨部支会】

それはかかりつけ医の充実という事で話があったのではないのか。

【市長】

例えば坂出市民病院や、三豊総合病院等は比較的上手くいっているが三豊総合病院はもともと患者が四国中央市から救急車も入るので上手くいっている。坂出市民病院については、周辺に医療機関が多くあるため外科に特化している。例えば診療医療費が100万、さぬき市民病院の場合は1万前後の場合、片方が一人で入る報酬がもう一方は百人来なければならないのも一つの原因となっている。もう一つは医師不足で、特に今言われたように信用がある

医師、名医が北海道に居ても患者は行く。地理的な条件は名医には関係ない。素晴らしい医師であれば田舎でも患者は来るので、医師の格と質に尽きると思う。

【鴨部支会】

原因が分かっているのであればなぜやらないのか。先ほどから言っているが、かかりつけ医みたいな仕事をしているのを改善する努力はしないのか。

【市長】

努力している。

【鴨部支会】

現状を聞いていると努力しているが全く駄目ではないか。市長がおっしゃっているのは、現状の話で改善策は今まで何をしていたのか。

【市長】

今の事業管理者となってから、診療報酬の単価はものすごく上がっているが、もともと大川病院で診療所が少なかったので山手 3 町の方が診療所として大川病院を利用していたのがいまだに残っている。それを逆紹介して、紹介してもらい単価を上げて努力しているが、今一番の原因は医師不足である。

【鴨部支会】

それより診療所機能でいまだに成り立っている所がおかしい。志度・津田は、病院を 3 町に取られた。

(閉会)